

2012 年度版 Linux 環境について

理工学 ITC では 2012 年 4 月より、Linux ワークステーションを新しい環境へ移行いたします。これに伴い、2011 年度の環境と比較して下記の変更ありますのでご確認ください。

■ 2012 年度版の主な変更点

2011 年度からの主な変更は下記の 5 点になります。なお、**各ユーザのホームディレクトリは新しい環境へ自動的に引き継がれ、アカウントも同じものをご利用いただけます。**

また、ホームディレクトリに「**\$HOME/.nonewconf**」というファイルを作ることで **2011 年度の環境設定を維持**することができます。

変更点	2011 年度	2012 年度
OS	CentOS 5.5	CentOS 6.2
アーキテクチャ	32 bit	64 bit
日本語文字コード	EUC-JP	UTF-8
アカウント	理工学 ITC UNIX アカウント (ITC アカウント)	理工学 ITC UNIX アカウント+ ITC アカウント
ソフトウェア	詳細は別紙参照	

■ OS

安定性および最新性のバランスから CentOS 6.2 を導入する予定です。2011 年度版の環境で導入されていた CentOS 5.5 と比較すると、様々なソフトウェア/ライブラリが新しくなりますので、**ユーザ毎に導入したソフトウェアは再コンパイルが必要**になる可能性があります。

■ アーキテクチャ

近年では、Linux/Unix に限らず Windows や Mac OS でもクライアントの 64bit 化が急速に進んでおります。これに伴い、Linux OS のアーキテクチャを 64bit に統一する予定です。**ユーザ毎に導入したソフトウェアは再コンパイルが必要**になる可能性がありますので、ご注意ください。

■ 日本語文字コード

多くの OS や Linux のディストリビューションがデフォルトの日本語文字コードとして UTF-8 を採用しています。理工学 ITC の Linux 環境では長年 EUC-JP をデフォルト文字コードとしてきましたが、近年の状況を踏まえ 2012 年度より UTF-8 の環境へ移行します。

既存のユーザも 2012 年 4 月 1 日以降に新規アカウントを作成したユーザも、自動的に UTF-8 の環境へ移行されます。ただし、ホームディレクトリに配置された「.login」、
「.bash_profile」、
「.xinitrc」などの設定ファイルをユーザ自身で変更している場合は自動的に UTF-8 の環境へ移行されませんのでご注意ください。

なお、下記のファイルを編集することで引き続き EUC-JP を利用することも可能ですが、CentOS 6 系の自体が UTF-8 を前提にした構成となっているため、UTF-8 の環境へ移行されることを強くお勧めします。

```
[csh, tcsh]
$HOME/.login 内に setenv LANG ja_JP.eucJP を追記

[bash]
$HOME/.bash_profile 内に LANG=ja_JP.eucJP を追記

[csh, tcsh, bash 共通]
$HOME/.xinitrc 内の「xterm, kterm」コマンドを「mlterm」へ変更
※ これは CentOS 6.2 の xterm が EUC-JP の扱いに関するバグを含んでいるためです
```

■ アカウント

理工学 ITC UNIX アカウント(y*****)に加えて、2011 年度より ITC アカウント(ua*****, aa*****)をご利用いただけるようになっております。

メール機能を除き、Linux 環境で理工学 ITC UNIX アカウントと ITC アカウントで行えることは同等です。ただし、ログインシェルの種類が異なるなど若干の違いがあります。

なお、ITC アカウントは各地区 ITC の Windows マシンへのログインが主な用途のため、Linux へログインするためには事前に Web からの手続きが必要になります。

(参考 : http://www.st.itc.keio.ac.jp/ja/guide_itc_account_st.html)

■ ソフトウェア

導入されている多くのソフトウェアが新しいバージョン (64bit 版) に更新されます。また、下記のソフトウェアについては非推奨/廃止となりますのでご注意ください。

・ kterm (非推奨)

理工学 ITC ではデフォルトのターミナルエミュレータとして長年 kterm を利用してきましたが、今後のメンテナンスが期待できないこと、また UTF-8 への対応が不十分なことから xterm へのシンボリックリンクとします。ただし、「kterm.euc」というコマンド入力することでオリジナルの kterm を起動することができます。

・ scim (廃止)

2011 年度の環境で日本語入力に利用していた scim が CentOS6.2 で廃止となりましたので、ibus-daemon へのシンボリックリンクとなっています。